

(5月8日) : 石油関連株が市場の下落を押し戻す

原油関連株のペトロベトナムガス (GAS)、ペトロベトナムコーティング (PVB)、ペトロベトナムドリリング (PVD) などが上昇したおかげでベトナム株式が大きく下落するのを防ぐことになった。ホーチミン取引所は下落して終えたが、ハノイ取引所は上昇して終えた。

わずかに下落して取引を終えたホーチミン取引所の VN 指数は投資家の高い警戒感、特にアジア地域と世界株式が大きく下落したことの影響を受けた。

多くのアジア株式は1%以上下落した。日経平均株価は1.46%、中国上海指数は1.12%、ハンセン指数も1.23%下落した。その他の世界株式も米中貿易交渉を控えてさえなかった。

VN 指数は0.66% (6.34 ポイント) ほど下落し951.22 ポイントで取引を終えた。

ホーチミン取引所では112銘柄が上昇し163銘柄が下落した。出来高は1億3800万株で売買代金は3兆ドンほどで前日比6%ほど下落した。相対取引では2200万株が取引され、代金にして7500億ドンほどであった。

GAS は0.5%上昇し109,900 ドン、PVD は3.1%上昇し19,850 ドンで取引を終えるなど石油関連株が市場の下落を和らげる結果になった。

一方、多くの大型銘柄は下落した。

ビンホームズ (VHM) は2.6%ほど下落し85,600 ドン、ビナミルク (VNM) は1.2%下落し128,000 ドンで取引を終えた。また、ベトジェット航空 (VJC) も1.3%下落し115,500 ドンで取引を終え、バオベトホールディングス (BVH) も2.6%ほど下落し75,000 ドンで取引を終えた。

ベトナム航空 (HVN) も2.8%ほど下落し39,350 ドンで取引を終えた。

大型銘柄の中では FLC ファロス建設 (ROS) が出来高トップであった。次いでサコムバンク (STB)、ホアファットグループ (HPG) などが取り引きされた。

軍隊商業銀行 (MBB)、テクコムバンク (TCB)、ベトナム産業貿易商業銀行 (CTG)、HDバンク (HDB) などが良く取引された銘柄だった。

ホアクアン (HQC) は 900 万株ほどの出来高を伴い、5.6%上昇し 1500 ドンで取引を終えた。会長の Truong Anh Tuan 氏が 1000 万株の HQC 株式の買い付けを発表したことによる。

HNX 指数は 0.08 ポイント上昇し 105.91 ポイントで取引を終えた。出来高は 2500 マン株ほどで売買代金は 2900 億ドンほどであった。相対取引で 870 万株が取引され、売買代金は 1010 億ドンほどであった。

PVS とサイゴンハノイ銀行 (SHB)、ビナコネックス (VCG) などが大きく上昇した銘柄でそれぞれ 1.3-1.4%ほど上昇した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。